

有機農業の取組と課題 ～「みどりの食料システム戦略」を背景に～ NPO法人日本都市農村交流ネットワーク協会 学習会

国は、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーション等で実現する「みどりの食料システム戦略」を策定し、推進しています。これを背景に広がりを見せる「有機農業」をテーマに、その目的や意義を考え、実践事例や課題について学ぶ学習会を開催します。

【基調提案】



「みどりの食料システム戦略」を背景に
日本の食料問題と広がる有機農業の意義と目的について考える

提案者 中村 貴子

NPO法人日本都市農村交流ネットワーク協会副理事長
京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授
近畿地域環境保全型農業推進連絡会議会長

【有機農業の取り組みと課題】

- ・近畿圏における有機農業の広がりの特徴
近畿農政局生産部生産技術環境課長 前田 武俊
- ・有機JAS米栽培、有機野菜栽培の取り組み
(株)エチエ農産会長 越江 雅夫
- ・有機JASイチゴ栽培等の取り組み実践
オーガニック認証農家 上村 慎二
- ・有機野菜栽培と農家民泊の取り組み
綾部市新規就農者 水田 裕之
- ・有機農業の研究と実践
龍谷大学農学部非常勤講師 松平 尚也

【質疑&討論】パネルディスカッション

終了後、会場近辺にて懇親会を開きます。会費4000円程度。希望者は申し込んでください。

- ・日 時 2024年3月2日（土）13:00～16:00
- ・会 場 龍谷大学深草キャンパス 22号館102教室
- ・参加費 （一般）1,000円（学生）無料
- ・申 込 裏面を確認ください

※会場でのマスクの着用は個人の判断としますが、発熱等体調が悪い場合は無理に参加しないようお願いいたします。

主催 NPO法人日本都市農村交流ネットワーク協会
後援 農林水産省近畿農政局、京都府

<有機農業実践の報告者のプロフィール>

- ・(株)エチエ農産会長 越江 雅夫
京都府京丹後市で、有機JAS米や野菜の栽培に取り組んでいる。地域環境に負担をかけず、有機資材と知力をいかし、工夫と手間をかけた農業を実践している。水稻、人参、里芋などの栽培方法、販売について紹介。
- ・オーガニック認証農家 上村 慎二
2010年に義理の父がつくった野菜の味に感動して八幡市で新規就農。2017年から全国に10軒しかない有機JASイチゴ栽培に挑戦。おからと米ぬかを混ぜた発酵肥料、やましろ産の竹パウダー等の有機肥料づくりから挑戦している。前JA京都やましろ青壮年部長、有機農業研究会主宰等活躍。
- ・綾部市新規就農者 水田 裕之
高等学校の教員から就農を希望し、志賀郷で農家(空き家)を購入し定住。有機農業を行ない農家民泊・屋号「水田家の食卓」を開設。小さな暮らし・WWOOF(ウーフ)のホストもし、海外から人々が訪れている。
- ・龍谷大学農学部非常勤講師、有機農業者 松平 尚也
有機農業を滋賀県および京都市内で取り組み、同時に、有機農業、持続可能な農業、環境と農業・食料、アグロエコロジー、小農、農場実践等について研究。

<会場案内>

- ・龍谷大学 深草キャンパス
京都市伏見区深草塚本町67
- ・交通アクセス
JR奈良線「稻荷」駅下車、
南西へ徒歩約8分

京阪本線「龍谷大前深草」
駅下車、西へ徒歩約3分

京都市営地下鉄烏丸線「く
いな橋」駅下車、東へ徒歩
約7分

最寄りのバス停：市バス
龍谷大学前



<申し込み>

氏名	住所 (市区町村まで)	連絡先 (メール・携帯電話)	所属	学生は ○	懇親会 参加は ○

◎FAX：075-703-5624 (NPO法人日本都市農村交流ネットワーク協会宛)

◎e-mail：jimukyoku@gtnet.Sakura.ne.jp

<企画の問い合わせ>事務局 今西 (携帯：080-4828-5687)